

提出順	12	発言順	12	令和 5年6月1日
				午前・午後 1 時49分受領

(2 枚中No. 1)

令和 5年 6月 / 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 20 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野市における防災を含めた情報系政策について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) デジタル技術の進歩はすさまじく、人々の暮らしはより豊かに、便利なものへと発展している。それに伴い「情報」や「情報系インフラ」というものは現代社会に欠かせない重要な要素となった。リスクが介在していることに注意が必要ではあるものの、可能な範囲での利活用をしていくことで、生活をより便利に、より安心にしていける可能性がある。 そこで、まずは安曇野市の情報系政策や取り組みについて、平時、緊急時の観点からそれぞれ対応を伺う。 ●「chat GPT」「Bard」等の生成 AI は安曇野市行政に役立つか。 ●小中学校の校門付近に情報監視カメラの設置を。 ●市内の通信状況の改善を。 ●安曇野市業務継続計画(BCP)の見直しは。 ●大規模災害時への対応に、「Starlink」の導入を。			

提出順	12	発言順	12	令和 5 年 6 月 / 日
				午前・午後 / 時 分受領

(2 枚中No. 2)

令和 5 年 6 月 / 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	未来への道標となる教育を。安曇野市の教育政策とICTが果たす役割とは。		
<p>質問の要旨（具体的に記載してください）</p> <p>東京都足立区では、基礎学力の定着を大きな教育目標に掲げ、様々な教育系政策を実施している。中でも「足立はばたき塾」を中心に近年、その取り組みが注目されている。</p> <p>GIGAスクール構想が走り出し、タブレット端末の一人一台貸与、コロナ禍でのリモート授業など教育DXが巻き起こっている。その中で、安曇野市ではICT支援員を新たに採用したというが、市内の学校に勤める教員からは見たこともない、との話を受けた。ICT支援の体制は十分なのか。</p> <p>ただ、ICTの利活用は、使い方次第では諸刃の剣であり、書く、覚える、計算する、といった能力分野の衰退、発達阻害にもつながる。</p> <p>一方で、近年の教育現場では、教職員の負担軽減ということも言われて久しい。多様な家庭環境の状況でもあるが、よりよい教育環境の整備をし、安曇野で育まれる子どもたちには是非とも学ぶ力を兼ね備えてほしいことから以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校からの基礎学力の定着と、さらなる学習意欲の向上に向けた取り組みを。 ●教育大綱とICT教育の位置づけ。 ●安曇野市における「教育CIO」の任命は。 ●ICT支援員の現状は。 ●教員に対するICT支援員の導入を。 			